

7月21日（水）

阪合部小学校の遺跡発掘調査を見てきました。幅1.5mほど、深さ80cmほど、長さ20～30mほどの溝が数本掘られたトレンチ調査です。柱を立てた跡と思われるのが数か所、土師器や瓦器（がき）が数多く捨てられたゴミ捨て場が1箇所、見る事ができました。土師器や瓦器は小皿のようなものが多く、その形から平安時代後期（1100年頃）に宴会で使われた器を捨てた所であると推定されています。普通、時代によって出土する深さが違うのですが、ここは同じ層から、いろんな時代のものが出土しているのだそうです。全面を発掘すれば、もっといろんなものが出土し、いろんなことが分かると思いますが、限られた費用や調査期間の関係でできないのが残念です。

